

福岡市立警固公園の構造改修のあり方についての研究

九州大学工学部	学生会員	野田 英樹
九州大学大学院	学生会員	本田 正明
九州大学大学院	正会員	樋口 明彦

1. はじめに

福岡市天神地区は、九州の中心街として常ににぎわう商業空間である。その商圈は、福岡市内ばかりでなく九州各県から、多数の買い物客や観光客をひきつけている。この天神の一角、西鉄福岡駅に隣接して福岡市立警固公園がある。大正7年に福岡県立図書館の前庭として創立された警固公園は、開園当初、天神のにぎわいの中心であった渡辺通り、明治通り交差点付近からははずれていた。しかしバブル時代を中心に多数の大規模商業開発が行われ、天神の中心がそれに合わせて南に移動する中で天神の中心地に取り込まれていく(図-1、図-2)。こうした周辺状況の大きな変化に合わせて、公園自体のリニューアルが平成元年に実施されたが、残念なことに、今回必ずしも市民やショッピング客による積極的な利用がなされているとは言い難い状況にある。そこで、本研究では、警固公園利用者のビヘイビアに注目することにより、現在の警固公園の抱える構造的な問題点を洗い出し、警固公園が天神の中核公園として機能するためにはどのような改修が必要となるかについて、調査、提案を行った。

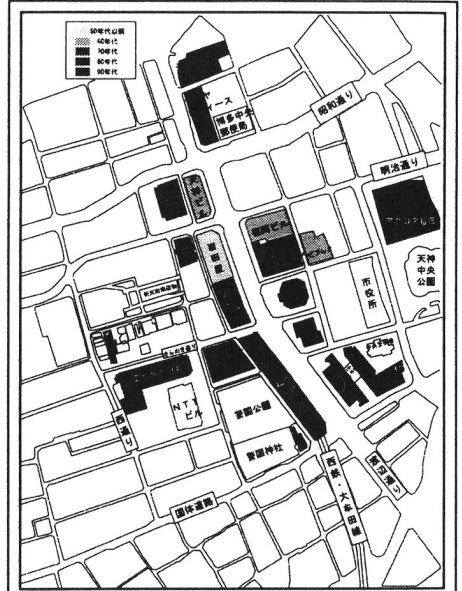


図-1 大規模商業施設の変遷¹⁾

2. 警固公園の認知度に関するアンケート調査

西日本新聞の行った調査によれば、天神来街頻度の最も高いセグメントは学生となっている。そこで、学生を対象に、警固公園がどの程度認知されているかを把握するためにアンケート調査を実施した。回答者は、九州大学の1回生74名である。図-3は回答者が天神地図上にマークした「普段よく行くエリア」を重ね合わせたものである。天神コアや、ソラリアプラザを中心にして、広く天神南ゾーンから大名にかけてよく訪れていることが分かる。一方、「警固公園には良く行きますか?」という問いに対しては、80%の回答者が「イエエ」と答えている(図-4)。この結果から、学生の間では天神南ゾーンが良く利用されているにもかかわらず、その中心部に近い立地にある警固公園がほとんど利用されていない現状が浮かび上がってくる。

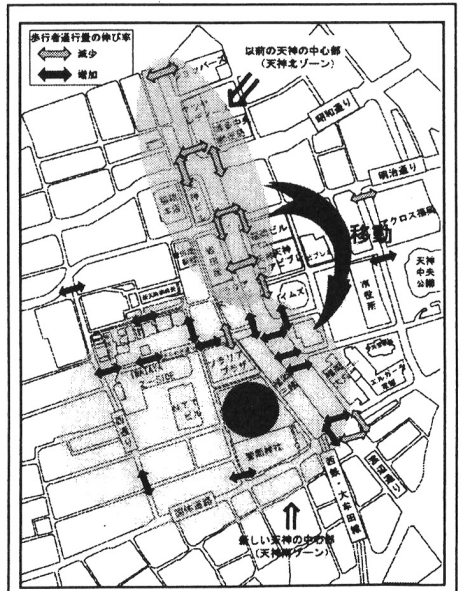
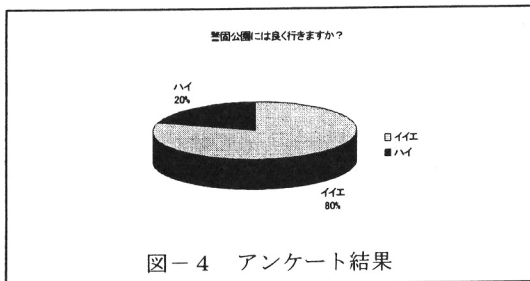
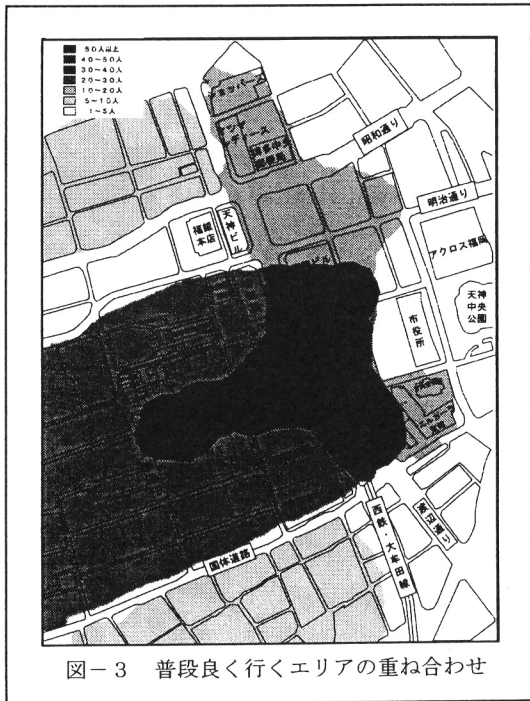


図-2 H7~H10の間での歩行者交通量の変化¹⁾

3. 警固公園とその周辺の動線調査

次に、警固公園の中及び周辺で、人の流れがどのようになっているかについての調査を行った。警固公園は台形をしており、北と東はソラリアプラザと福岡三越/ソラリアターミナルビルにそれぞれ囲まれている。ターミナルビルには表の渡辺通りに通じるトンネル通路が設けられている。西側には、通りがあり、通りに面して公園の地下の駐車場への出入り口が開いている。南側は警固神社の境内に接している。公園の

出入り口は北東の角の他に、北のソラリアプラザ前、南西の角、さらに南東角の設けられている。公園内の大きな通路としては、北東角と南西角を結んだ対角線上に太い歩道が設けられている。調査は公園全体が見渡せる北東角に立ち、公園の内外を歩く人々の動線を追跡・記録した。調査の結果を図-5に示す。まず、平日については、公園の北側と東側の通路を通過する人の数が60%と最も多く、また公園内も通路としてしか利用されていない状況が際立っていた。休日については、平日に比べて5倍の人が公園内にとどまっていたが、公園の周辺の通路を通過する人の数は平日よりも多く、決して公園が積極的に利用されているという印象は得られなかった。次に公園利用者、通過者が利用する出入り口の位置に注目してみると、北東の角に集中しており、他に4箇所ある出入り口はほとんど利用されていないことも明らかになった。



4. まとめ

以上に示した調査から、警固公園が天神の中核公園としては十分に認識されておらず、また、利用形態も望ましいものとなっていないことが明らかとなった。この理由としては、近年の天神南ゾーンの開発の動きの中で警固公園の位置付けが明確になされず周辺施設や人の流れとの空間的な一体化がうまくなされていないこと、そして、公園自体に構造的な問題（出入り口の配置、園内のデザイン等）があることが考えられる。今後はこうした問題点をさらに掘り下げるために①認知度アンケートの対象を学生だけでなく一般の利用者に拡大②公園内動線調査をさらに追加実施③公園周辺施設の設計者に対して設計の際に警固公園をどの程度考慮したかのヒアリングの実施を行い、最終的には望ましい警固公園の利用のあり方を実現するためには、どのような改善案をとっていくことが考えられるかについて提案を行いたいと考えている。

参考文献：

- 1) 西日本新聞社：天神パワー、西日本新聞社、1998
- ケビン・リンチ：都市のイメージ、岩波書店、1968
- 柳猛直：福岡歴史探訪中央区編、有限会社海鳥社、1996

